

2022年8月25日

関東大学女子バスケットボール連盟
感染症対策チーム

大会開催にあたって コロナ感染対策のお願い

新型コロナウイルスの「第7波」といわれる感染拡大の波は東京では8月初旬をピークに少しずつですが、収束する傾向をみせています。しかしながら、当面新規感染者が東京で1万人以下になるにはかなり時間がかかりそうです。そんな中、今週末から第72回リーグ戦が始まります。

大学や保健所の判断を鵜呑みにせず、自分たちのチーム内で適切な判断を行なってください。安易な判断により相手チームへの感染が広がってしまい、その結果、大会が中止になることもあります。

各チームにおかれましては、基本的な感染対策に加えて、下記に示す対応の徹底をお願いします。

最重要！

1. 体調不良者（**明らかな症状に限らず、喉に違和感を感じた、微妙に倦怠感を感じた、お腹の調子がよくないなども含む**）、発熱者は**絶対に会場に来ないように**してください。
2. 以下の場合、**直ちに必ず学連までご報告ください**。
 - (1) チームのメンバー（スタッフを含む）に陽性者／濃厚接触者が出た場合
 - (2) チームのメンバー（スタッフを含む）に濃厚接触が疑わしい者が出た場合
 - (3) チームのメンバー（スタッフを含む）に感染が疑われる症状が出た場合※詳しくは、2022 感染対策責任者向けガイドライン（8月12日改訂版）をご覧ください。

以下に、最近の事例より確認できたことを記載します。

- 練習試合や他の大会で、ゲーム中に対戦チームへ感染しているケースが多発している。
※これまでは更衣室や控室での感染が主でしたが、オミクロン株（BA.5）の場合は、ゲームの最中に感染する可能性が考えられます。
- 感染拡大をみせているウイルスは中2日前後で発症することが多い。
- チーム内で発熱された方がいると複数の感染者が出るケースが多い。

○エアロゾル感染で感染拡大していると思えない事例が出てる。

※エアロゾルの感染予防は煙に近いものと考えればわかりやすいです。

狭い部屋でたばこを吸うと部屋の中に煙が充満し、咳をする方ができません。

そのままたばこを吸い続けると息苦しくなります。ここで換気扇を回す、窓を開けるなどすると煙は薄くなっていきます。

エアロゾル感染は「換気」で感染の危険性を下げることができます。

○選手のみでなくスタッフにも感染している例がある。会話時にはマスク着用を徹底すること。

その他、今までの大会で実行して下さった基本的な感染対策をしっかりと実行してください。

以 上